



・治水、利水、環境を3本柱として取り組んできましたが、全体の印象として、環境が弱かったと感じています。もう少し、省庁間の壁を取り除いて、環境、生態系を含めた全体として流域を考えていければよかったですのではないのでしょうか。今後、フォローアップの組織ができるのであれば、環境などにも力を入れて取り組むべきだと思います。

・流域全体の議論がなかなかできなかったことが残念です。今後は、住民、活動団体、研究者などで自由な議論ができる組織を作り、それを関係省庁が支えるという仕組みが大切ではないでしょうか。また、『川と海とのつながり』ということを考えてながら何をすべきかを議論できる組織を作って、常に行動できるようにしていくことが大切ではないでしょうか。



○ 整備計画策定にともなう資料取りまとめについて

整備計画策定にともなう資料取りまとめについて説明し、主に次のような意見を頂きました。



・沿川住民にいろんなプロジェクトで説明していますが、参加者が意外と少ないと感じます。したがって、もっと広く伝えていく目標を持って、広報に取り組んでいただきたいと思います。

・委員会資料、バックデータ、今までのPIの取り組みなどの背景もきちんとまとめたものを残していくことが大切ではないでしょうか。



次回の予定について

「河川整備計画の策定結果」、「今後の進め方について」を議題とする予定です。

編集後記

流域委員会もいよいよ大詰めを迎え、この委員会通信では、河川整備計画（原案）の修正点や今後の計画の進め方に関する主な意見が示されています。委員会通信は、土岐川庄内川流域委員会の議論を流域住民の方々に速やかに伝える役割を担ってきましたが、委員会の雰囲気も含めて委員会と住民の皆様とをつなぐものとして、その役割をそれなりに果たしてきたのではないかと考えています。今後も、河川整備計画を進めるに当たり、何らかの形でこうした情報提供、情報交換が続けられることを大いに期待します。

(副委員長 松尾 直規)



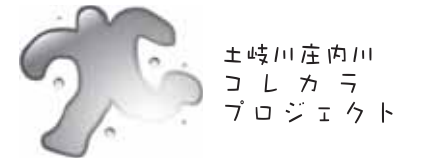
土岐川庄内川
流域委員会通信

VOL.12

監修/土岐川庄内川流域委員会
発行/土岐川庄内川流域委員会事務局
国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所
462-0052 名古屋市北区福德町5-52 TEL 052-914-6711
フリーダイヤル 0120-4071-41

ホームページ ● <http://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/>
メールアドレス ● shonai@cbr.mlit.go.jp

土岐川庄内川 流域委員会通信



VOL.12

発行日：平成19年10月

土岐川庄内川流域委員会の議事内容と、関連情報をお知らせしていきます。

第13回 土岐川庄内川流域委員会が開催されました

開催日時

平成19年8月3日(金)

14:00~17:00

会場

名鉄グランドホテル
11F 柏の間



◇第13回 土岐川庄内川流域委員会審議内容

○ 意見聴取結果と河川整備計画（原案）の修正点について

意見聴取結果と河川整備計画（原案）の修正点について説明し、主に次のような意見を頂きました。

・「～を講じる」という表現がありますが、整備計画というのは具体的なことは将来の課題とするという考え方でいいのでしょうか。

事務局

・整備計画ではできるだけ具体的に表現していますが、検討中のもの、調査中のものなどについては数値などではなく、方向性として示しています。

・将来的には、すべて数値目標などを入れるのですか。できないことは書かないという方法もあると思います。

事務局

・環境は調査、検討に時間がかかります。例えば、流量、社会状況によっても変化してくるので、今後のフォローアップも含めてPDCAで対応していきたいと考えています。

